

# きらめき新聞

## 輝き出す復興の光

### とまとランドいわき

### 「ピンチはチャンス」で

いわき市のとまとランドいわきは、主にたくさんのトマトを育てている施設だ。約2・3ヘクタールのガラスハウスで、年間700〜800トンものトマトを育てている。土を使わない土耕栽培と養液栽培を行っている。

とまとランドいわきの職員、石橋洋典さんは「ピンチはチャンス」という気持ちで仕事をしている。実際に震災時、避難所にトマトを寄付して、

トマトのおいしさを人々に伝えることができた。「みんながおいしいと思ってくれるように。トマトを食べたことない、嫌いという人にも食べてもらいたい。そんな思いでトマトを育てている」と



とまとランドで収穫されたトマト



ブルーベリーとミニトマト

とまとランドいわきはトマト以外にもブルーベリーやパプリカも育てている。ブルーベリーは、震災時、ソーラーパネルの会社から寄付されたソーラーパネルの下で育てられている。「トマトが赤くなると医者青くなる」という

ことわざがある。これはトマトに保健効果があることを示している。トマトには、リコピンを中心とした栄養がある。リコピンは、ピンク系トマトより赤系トマトの方が2倍近く多いという。とまとランドの石橋洋典さんは、多くリコピンを取る方法として「加熱すると良い」と教えてくれた。おすすめはミニトマトだ。ミニトマトジュースや黄色トマト、ブルーベリーをいただいた。どれも甘くとてもおいしかった。体に良いトマトを食卓に取り入れてみるのはどうだろうか。(金賀絢香)



頂いたトマトジュース

語った。とまとランドいわきは、一刻も早く震災前と同じように戻るようにという努力が感じられた。(坪根未空、矢内友芽子)

## トマトで元気モリモリ

## いわきの情報いち早く

### ローカルラジオFMいわき



パーソナリティーのベティさん

いわき市のFMいわきは、いわき市の地域情報を発信する放送局だ。そして、FMいわきは、いわき市の人にとって大事なラジオである。天気予報や、交通情報、緊急情報、イベント情報などの生活情報を伝えている。放送制作部の、大坂行さんは、「いわき市の人たちにとって大事な情報を正確に、いち早く伝えるようにしています」と、努力を語った。パーソナリティーのベティさんは、どうしたら上手に放送できるのかとの質問

## 「パーソナリティーは28人」

FMいわきのこと事について、大坂行さんと、安部正明さんに聞いた。一人ぐらいで放送していますか。

大坂さん 2人以上で放送しています。音楽をかけたりますミキサー1人とパーソナリティー1人です。

一人が働いていますか。

大坂さん パーソナリティーが28人で、ミキサーが3人、制作が10人ぐらいです。

一やっつて良かったことは何ですか。

安部さん ラジオで放送して、迷い犬が見つかったときに、お礼の電話がかかってきたこと



安部さん(右)と大坂さん



山積みになっているCD

に、「緊張せずに、放送するのが大事です」と話し方のコツを語った。局長の安部正明さんは「メディアには、それぞれの役割があり、ラジオは、今起きている事をいち早く伝えることができ、何かをしながらでも、聞くことができます」とラジオの良さを語った。(早坂拓也)

CDの山は・・・

FMいわきには、CDが、日本人アーティストのものだけで、約8000枚もある。そのCDは、ラジオなどで使われている。(早坂拓也)

- 編集しました。
- 空(藤間中学校)
- 陽(平養護学校)
- 未(郷ヶ丘小学校)
- 根(草野小学校)
- 子(好間第二小学校)
- 内(草野小学校)
- 賀(好間第二小学校)
- 針(好間第二小学校)
- 早(好間第二小学校)